

## 「たかさき能」について

吉永哲郎

高崎の能楽

高崎は単なる商都でなく、能楽と深いかかわりをもった都市です。市の重要文化財に「清水寺の能楽の絵馬」が指定されています。この絵馬は、狩野派の狩野常信が描いた能の「熊野」の一場面です。喜多流の能を好んだ高崎藩主安藤対馬守重博が、元禄5年(1692)に奉納したものです。また

その後の藩主松平輝貞、間部詮房らも能楽をことのほかたしなんでいます。その影響でしょうか、城下の町中に謡の師匠が多く住み、商人は教養と品位を高めるために、謡と俳諧とを競って身につけようとしたようです。今にその商人の風流の面影を残しているのが、この「たかさき能」で、それを32回も続けていることこそ、商都高崎の心意気だと思います。

高崎の能楽

高崎は単なる商都でなく、能楽と深いかかわりをもった都市です。市の重要文化財に「清水寺の能楽の絵馬」が指定されています。この絵馬は、狩野派の狩野常信が描いた能の「熊野」の一場面です。喜多流の能を好んだ高崎藩主安藤対馬守重博が、元禄5年(1692)に奉納したものです。またその後の藩主松平輝貞、間部詮房らも能楽をことのほかたしなんでいます。その影響でしょうか、城下の町中に謡の師匠が多く住み、商人は教養と品位を高めるために、謡と俳諧とを競って身につけようとしたようです。今にその商人の風流の面影を残しているのが、この「たかさき能」で、それを32回も続けていることこそ、商都高崎の心意気だと思います。

次回、たかさき能のご案内
「第33回 たかさき能」
開催　平成30年10月28日(日)
会場　群馬音楽センター
演目　能   花月　　狂言   粟田口   梅若 玄祥　　  山本 東次郎

内容等は予告なく変更になることもあります。

ホームページ等でご確認ください。

たかさき能ホームページ http://www.takasaki-nou.jp

高崎の能楽

主催　たかさき能(薪能)実行委員会  
共催　高崎商工会議所  
後援　(一社)高崎観光協会、高崎市教育委員会、東日本旅客鉄道株式会社 高崎支社、上毛新聞社、群馬テレビ、ジェイコム群馬、FM GUNMA、ラジオ高崎

### 御協賛いただいた方々（50音順 敬称略）

下記の方々に多大なご協力をいただきました。

深く御礼申し上げます。

糸井商事株式会社	高崎信用金庫
株式会社井ノ上	高崎白衣大観音 慈眼院
共和産業株式会社	株式会社竹中組
クシダ工業株式会社	NEXUS株式会社
株式会社倉屋	原株式会社
株式会社群成舎	東日本旅客鉄道株式会社
群馬トヨタ自動車株式会社	高崎支社
国際警備株式会社	ヒロボックス株式会社
医療法人社団清水内科	藤田エンジニアリング株式会社
医療法人秀緑会高山眼科	株式会社ホテルメトロポリタン高崎

医療法人 愛寿会 真中記念クリニック	高崎商店街連盟
株式会社アイロック	高崎倉庫株式会社
株式会社アドテックス	高崎ターミナルビル株式会社
荒瀬印刷株式会社	高崎電気工事協同組合
有限会社アリガコーポレーション	高崎ビューホテル
株式会社安藤	高崎弁当株式会社
株式会社イーエンジ	株式会社タカハシ
有限会社市川克美会計事務所	株式会社田村屋
乾小児科内科医院	だんべえ本舗 風間堂
有限会社いちやまさ材木店	株式会社堤組舗装
株式会社岩井商店	株式会社テラサワ
NTT東日本群馬支店	東栄電工株式会社
大井田薬局株式会社	株式会社鳥屋銅鐵店
加藤建材工業株式会社	株式会社ナガイ
株式会社神倉硝子	株式会社西山組
株式会社キタ・カン	日建フレメックス株式会社
有限会社共同技建	株式会社根岸
熊井戸工業株式会社	ネットトヨタ群馬株式会社
株式会社グラスロード社	有限会社花のハットリ
グリームナック	ピアノプラザ群馬
群商電設株式会社	株式会社ビルテック
株式会社群馬銀行 高崎支店	株式会社プリエッセ
群馬シャッター販売株式会社	ブリジストンタイヤ高崎販売株式会社
群馬大同工業株式会社	有限会社フルセール
株式会社建工テック	株式会社バルテック
株式会社原人社	細谷工業株式会社
株式会社コムテックス	正木整形外科医院
有限会社小森谷商店	マスト株式会社
サン株式会社	マツダマネジメントセンター株式会社
サントノーレ	有限会社丸高
株式会社サンバック	室賀法律事務所
島津会計税理士法人	医療法人矢崎会
清水歯科医院	山名八幡宮
株式会社修技研	大和建设株式会社
上毛産業株式会社	ラジエ工業株式会社
少林山達磨寺	株式会社ラジオ高崎
スギウラ株式会社	株式会社リード
株式会社精真社	レストラン シャンゴ本店
大輪商工株式会社	株式会社レンタルランド
高崎市農業協同組合	和光化学株式会社
高崎商工会議所	

## 第32回たかさき能



第32回たかさき能

第32回たかさき能
開催　平成29年12月3日(日)
会場　群馬音楽センター
演目　能   花月　　狂言   粟田口   梅若 玄祥　　  山本 東次郎

## 「たかさき能」の歴史

たかさき能(薪能)実行委員会

高崎の能楽

高崎の能楽は、高崎の歴史と共に歩み、高崎の文化の発展を促して来た。高崎の能楽の歴史は、高崎の歴史と共に歩み、高崎の文化の発展を促して来た。高崎の能楽の歴史は、高崎の歴史と共に歩み、高崎の文化の発展を促して来た。高崎の能楽の歴史は、高崎の歴史と共に歩み、高崎の文化の発展を促して来た。

そもそも始まりは、白衣大観音。建立から50年を迎えた1986年、その節目を記念して始められたのが「たかさき薪能」です。毎日高崎の街を見守ってくださる観音さまに奉納すると共に、日本の伝統文化である「能」を高崎市民に楽しんでもらいたいと、当時の観音山連絡協議会を中心に企画されました。

高崎の能楽

第1回は観音山を会場に開催。秋の夜長、篝火の灯りに浮かび上がる能舞台の後ろに凛と立つ白衣大観音、漆黒の闇に響きわたる音色。幽玄というにふさわしい世界が繰り広げられ、多くのファンをもつようになりました。第13回からは市庁舎前広場、第21回からは天候に左右されない群馬音楽センターへ会場を移しました。

そしてもう一つの魅力は、行政・地元企業・能を愛する市民によって大切に守られてきたということ。第22回からは実行委員会が責任をもって運営することになり、現在に至ります。

十四時二十分

演目解説

吉永哲郎

休憩十分

あいさつ

十五時

仕舞

観世流

弓八幡

馬野 正基

地謡

小田切亮磨  
松山 隆之  
角当 直隆  
川口 晃平

十五時七分頃

狂言

大蔵流

福の神

シテ(福の神) 山本 東次郎

アド(参詣人甲) 山本 則俊

山本 則秀

アド(参詣人乙) 若松 隆

地謡 山本 則重

水木 武郎

福の神

大晦日の夜、誘い合わせて「福の神」へ向かう二人の男、毎年欠かさずお参りをするおかげで、次第に豊かになっていくような気がすることを喜び合う。参詣し、「福は内、鬼は外」と豆を打ち囃すところへ、福の神が姿を現す。酒好きの福の神はお供えの神酒を求め、二人の熱心な参拝を褒める。そして、豊かになる秘訣は心の持ちようで、朝早く起き、人に慈悲の心を持ち、来客は常に歓迎し、夫婦の仲では腹を立てず、その上福の神に酒をたくさん供えてくれるなら、どうしたって裕福にしてやらねばならないだろう、と言つて楽しげに笑う。

休憩十五分

十五時四十分頃

能

観世流

前ツレ(女) 谷本 健吾

後ツレ(龍神) 角当 直隆

前シテ(老人)  
後シテ(弁財天) 梅若 玄祥

竹生島

ワキ(廷臣) 宝生 欣哉

大鼓 柿原 弘和 太鼓 林 雄一郎

女体 ワキツレ(従臣) 大日方 寛

小鼓 鶴澤洋太郎 笛 一噌 隆之

ワキツレ(従臣) 御厨 誠吾

アイ(末社の神) 山本 則重

後見 松山 隆之  
小田切康陽

地謡 鷹尾 雄紀 内藤 幸雄  
山崎 友正 山崎 正道  
小田切亮磨 馬野 正基

竹生島

女体

醍醐天皇に仕える廷臣が琵琶湖に浮かぶ竹生島に詣るために釣舟に便船を頼む。釣舟で漁翁(老人)と若い女と共に島に渡り、神前に着くが女人禁制と聞いていた廷臣が不審に思っていると、漁翁は島に祭る大弁財功德天は天女だから女性こそ参詣するべきだと語る。すると女は社壇の中へ、漁翁は湖へと姿を消す。やがて社殿が鳴動し、光り輝く姿の弁財天が現れ美しい舞を舞い、湖の波間から現れた龍神は金銀珠玉を廷臣に捧げ、国土を鎮める力を示す。そしてまた天女は社殿に、龍神は湖の龍宮へと去っていく。

十七時十分頃

終演予定



梅若 玄祥

うめわか げんしょう

シテ方観世流 1948年生、故55世梅若六郎の次男  
父及び、祖父の故2世梅若実(人間国宝)に師事  
重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)  
芸術院会員



山本 東次郎

やまもと とうじろう

狂言方大蔵流 1937年生、故3世山本東次郎の長男  
重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)